

68年前、自然と共生する庭園様式の工場から、私たちは歩み始めました。

創業以来、富士通グループは自然や社会と調和する事業活動を常に考えながら、ITの最先端へと歩み続けてきました。持続可能な未来への貢献が求められる中、環境、経済、社会との関わりを真摯に見つめた私たちの活動は、これからも豊かな実を結んでいきます。

1935年

- 川崎工場設立時、初代吉村社長の提言により庭園様式を取り入れる
- 富士通信機製造株式会社設立**

1954年

- わが国初のリレー式自動計算機「FACOM100」完成**

1961年

- トランジスタ式大型汎用電子計算機「FACOM222」完成**

1967年

- 「富士通株式会社」に社名変更**

1972年

- 各工場に環境管理課設置

1980年

- 日本語ワードプロセッサ「OASYS100」発表**

1981年

- パーソナルコンピュータ「FM-8」発表**

1987年

- オゾン層保護対策委員会発足
- ビジネス・パソコン「FMRシリーズ」発表**

1989年

- 環境対策委員会発足

1990年

- 環境管理評価システム実施

1991年

- 環境技術推進センター発足

1992年

- 富士通環境憲章制定
- 洗浄用フロン、四塩化炭素全廃
- 省エネルギー対策委員会発足

1993年

- 製品再資源化委員会発足
- 廃棄物対策委員会発足
- 第1期富士通環境行動計画策定
- 製品環境アセスメントガイドライン実施
- 関係会社環境問題連絡会議発足
- 環境情報サービス(FJ-CUG)開設

1994年

- 環境広報誌エコプラザ創刊
- 1,1,1-トリクロロエタン全廃
- 第1回富士通グループ環境技術展開催
- 環境シンボルマーク制定
- 海外環境情報ネットワーク運用開始
- オールインワンモデル・パソコン「FMV DESKPOWER」新発売**

1995年

- 環境マネジメントシステム委員会発足
- リサイクルシステム運用開始
- 海外グループ環境問題連絡会議発足
- 世界最高速CMOS汎用プロセッサと並列処理技術を採用したグローバルサーバ「GS8000シリーズ」発表**
- 42型カラー・プラズマ・ディスプレイ・パネル(PDP)を世界で初めて商品化**
- 2GB/4GBの3.5インチ光磁気ディスクを世界で初めて開発**

1996年

- 第2期富士通環境行動計画策定
- イントラネット「環境技術推進センターホームページ」開設
- 化学物質排出削減委員会発足
- 環境活動報告書初版発行

1997年

- ホームページ「環境のコーナー」開設
- 国内全製造工場にてISO14001認証取得完了

1998年

- タイで植林活動
- グリーン製品発表
- UNIXサーバ「GP7000Fファミリー」を発表**



1999年

- 環境会計制度の導入
- ベトナムで植林活動開始
- 350万会員のインターネット・サービス・プロバイダー「@nifty」が誕生**

2000年

- 国内開発・サービス4事業所にてISO14001認証取得完了
- 環境本部発足
- デスクトップパソコンで、初のエコマークを取得

2001年

- 第3期富士通環境行動計画策定
- カレンダーに植林木採用
- マレーシアで植林活動

2002年

- 世界初、「スズ-亜鉛-アルミニウム組成の鉛フリーはんだ材料」を開発**
- 世界初、環境負荷の少ない「生分解性プラスチック」部品をノートパソコンに採用**
- 富士通グループ環境方針制定**
- 世界初、自社再生マグネシウム合金をノートパソコンに適用**

2003年

- 植林ネットワークゲーム「リズムフォレスト」を活用した植林活動支援を開始
- 国内全13工場で、廃棄物のゼロエミッションを達成

